

「花粉の少ない森づくり」の取組



花粉の少ない森づくり

- 花粉対策室
- 花粉の少ない森づくり運動担当



取組内容

- I 花粉の少ないスギ等への植替と
東京の木 多摩産材の出荷
- II 花粉の少ない森づくり運動

東京の森林・林業の特徴

- 森林面積は、多摩と島しょ地域に約8万ha
(都の総面積の約4割)
- 木材等の生産、水源涵養、災害の防止、憩いの場など
多面的機能を発揮
- 多摩の森林の6割は、スギ・ヒノキの人工林で、木材と
して利用可能な50年生以上の森林が77%を占める



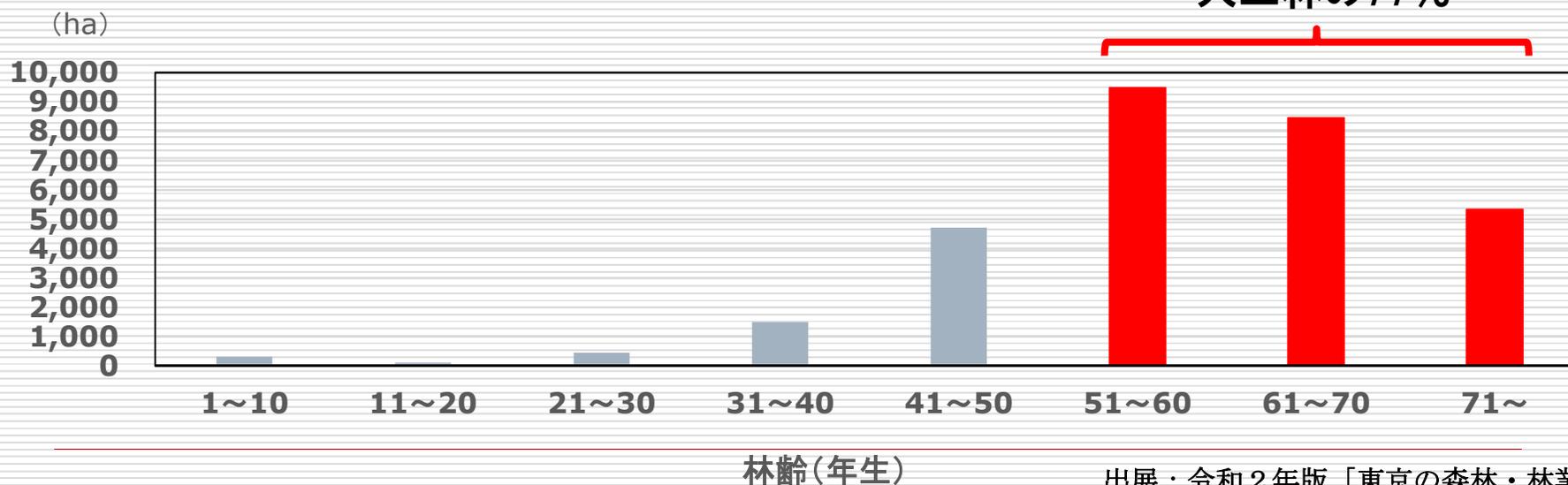
(背景)



森林循環(伐採・利用・植栽・保育)の停滞

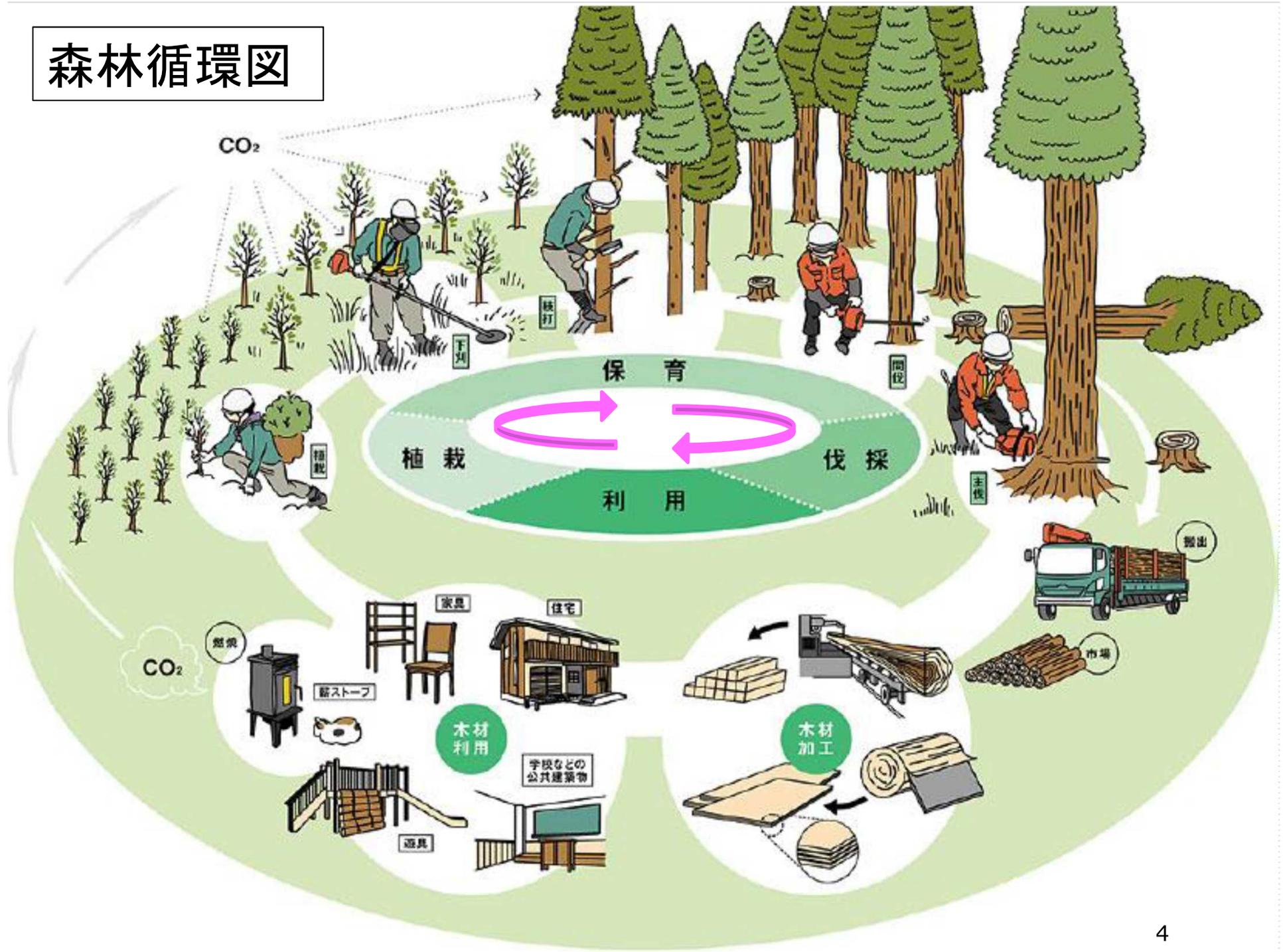
- 長期的な木材価格の低迷と人件費の高騰により林業採算性が低下し、木材として利用可能な50年生以上のスギ・ヒノキ人工林の伐採が停滞

多摩のスギ・ヒノキ人工林の林齢別面積



出展：令和2年版「東京の森林・林業」

森林循環図



(背景)

都内スギ花粉症有病率

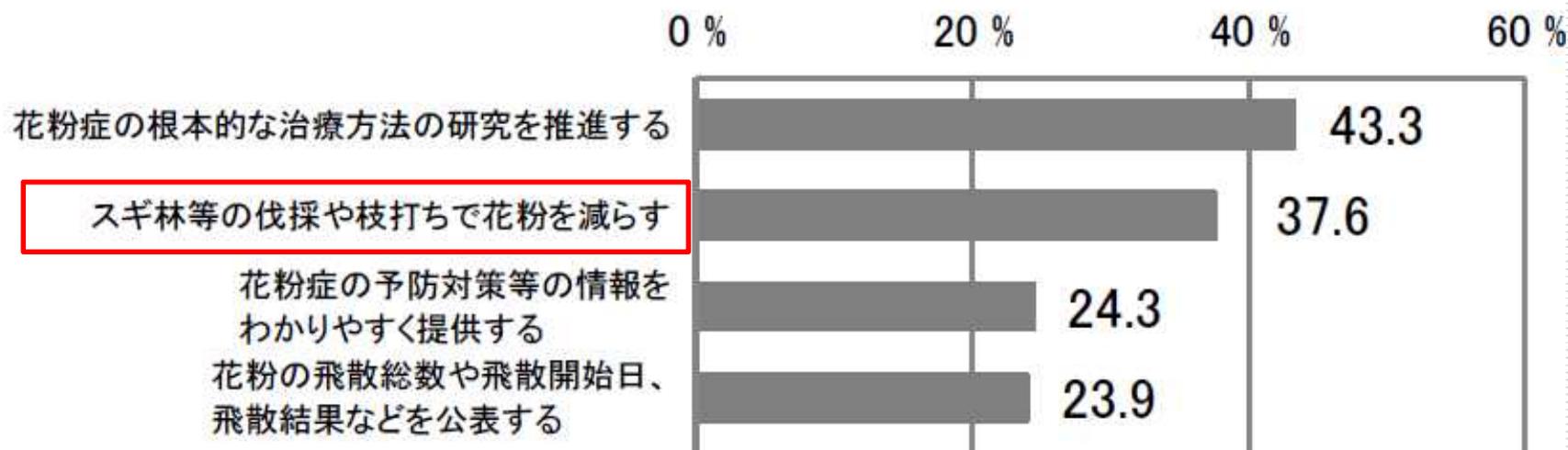


□ 花粉症患者実態調査報告書(平成29年12月)

・都内におけるスギ花粉症有病率

→48.8%(推定値) ※前回平成18年度調査28.2%

・都民の東京都の花粉症対策への希望



スギ等の伐採と花粉の少ないスギ等の植栽

- 目的

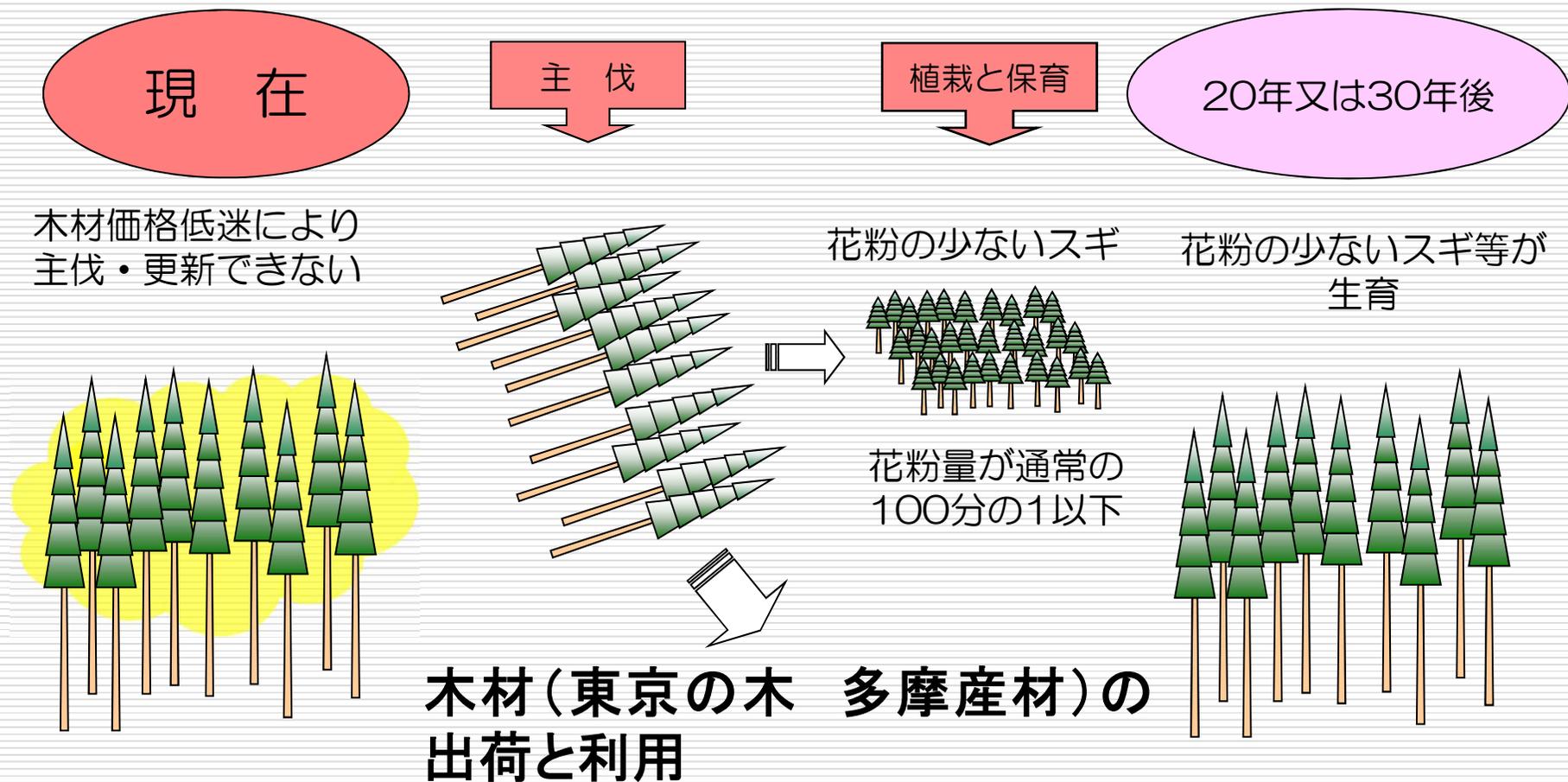
- 花粉の削減
- 林業振興



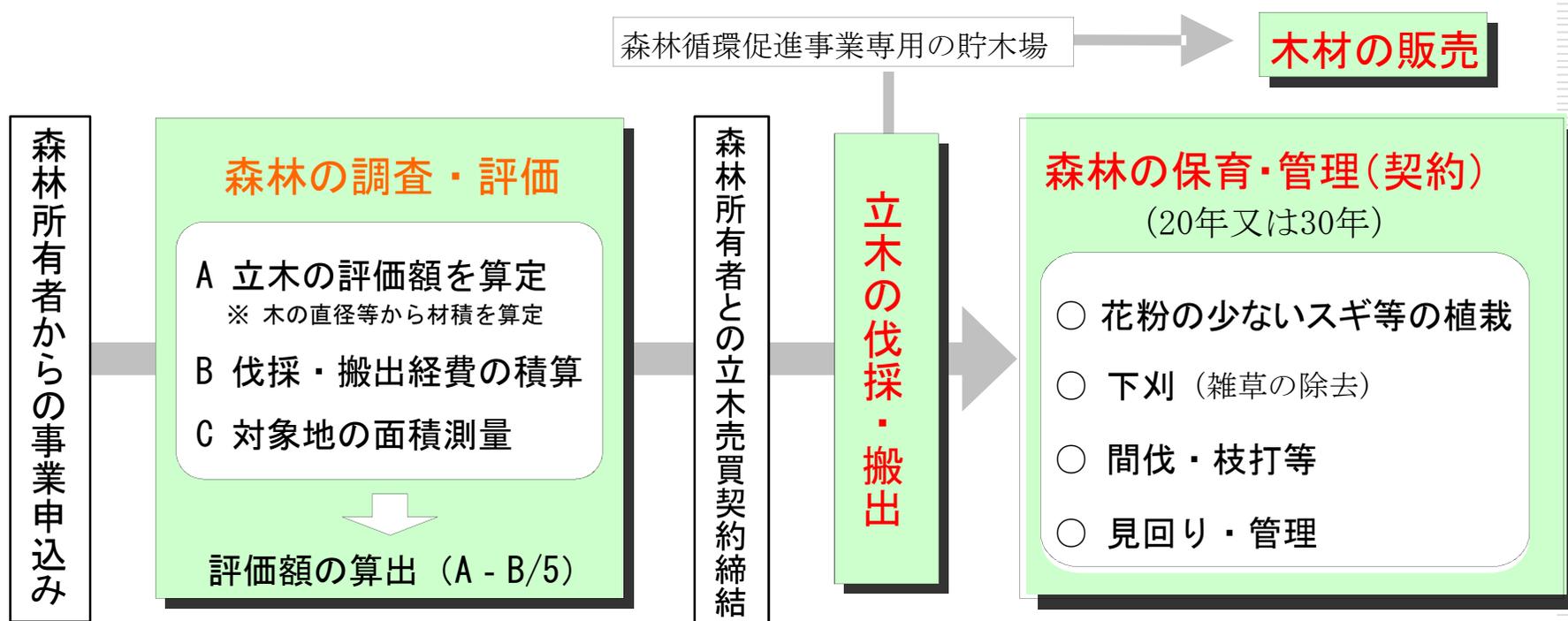
- 事業内容

- 森林所有者からスギ等の立木を購入し、伐採・搬出及び木材販売
- 伐採後、花粉の少ないスギ等の植栽、保育管理

花粉を多く発生するスギ・ヒノキの伐採と花粉の少ないスギ・ヒノキ等の植栽



森林循環促進事業（主伐事業）の流れ



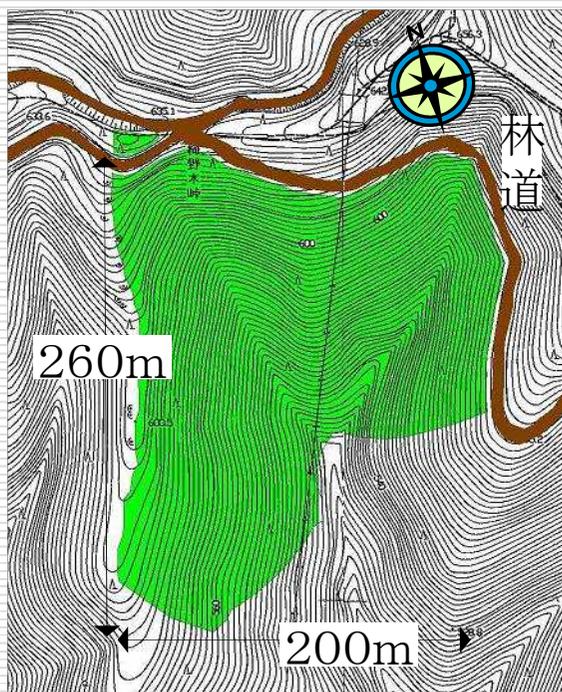
山見調査 森林所有者が申込みした森林の調査

- ・境界線の確認、分収林等の契約、相続等の権利関係
- ・山の状態（林道からの距離、樹種・林齢・植栽本数、手入れの状況など）
- ・伐採・搬出の方法（架線・土場・集材機、道路、河川等）
- ・希少な生物等の確認



事業採算性の検討

森林の評価



測 量

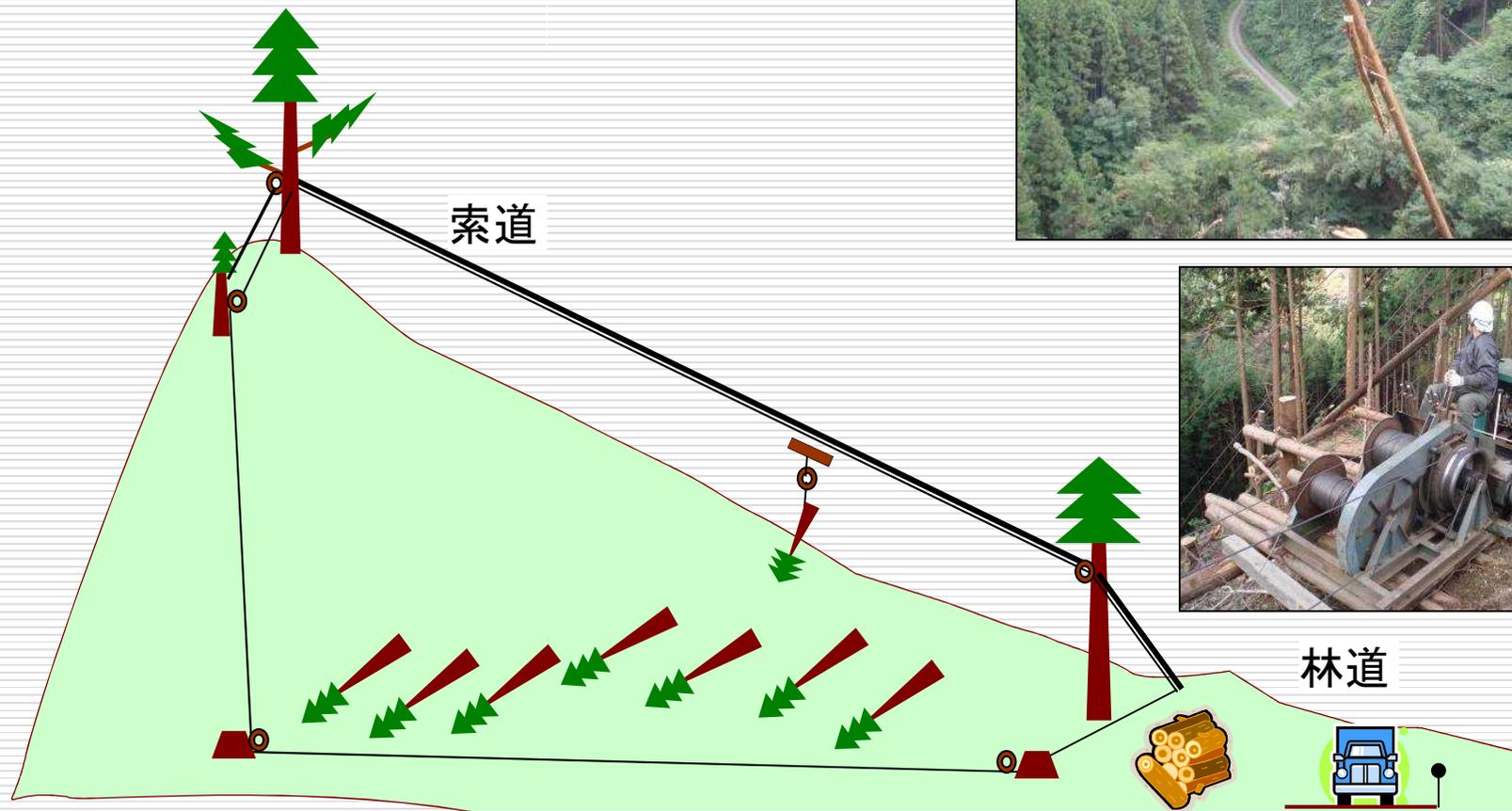


毎木調査

スギ・ヒノキ林の伐採



伐採・搬出



植えた木の保育と管理



花粉の少ないスギ等の植栽



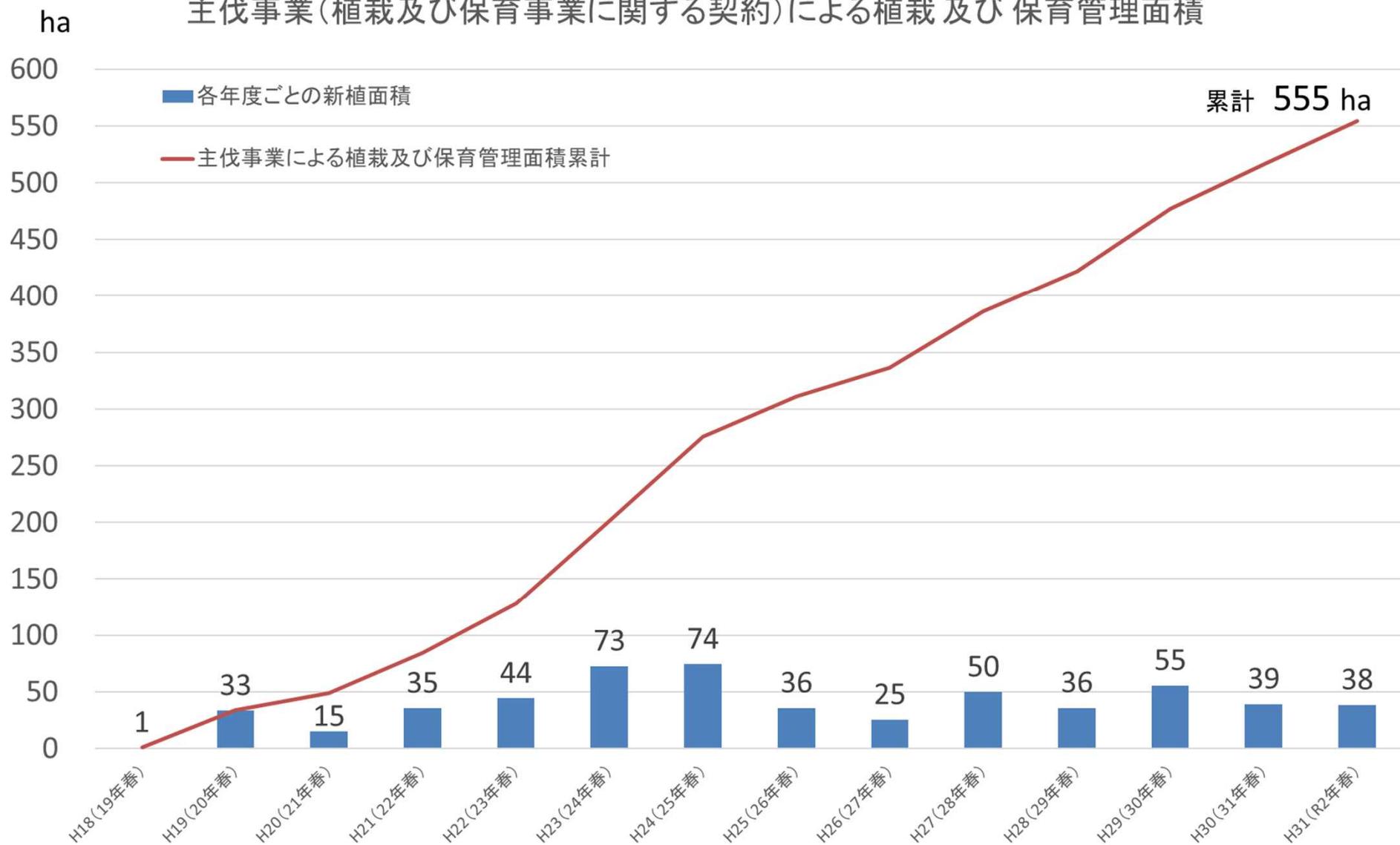
下刈り



新たな取組 ～シカによる苗木の食害等への対策



主伐事業(植栽及び保育事業に関する契約)による植栽及び 保育管理面積



多摩の木材(多摩産材)の流通と利用



森林循環促進事業
(花粉対策)
財団実施の
主伐事業現地

財団貯木場(青梅)



・伐り出された原木を
ストックし選別
【原木の選別区分】
A材(良材): 建築材
B材(中質材): 合板用
C材(不良材): チップ用



民間実施の
主伐・間伐事業

A材

多摩木材センター
(原木市場)



A材

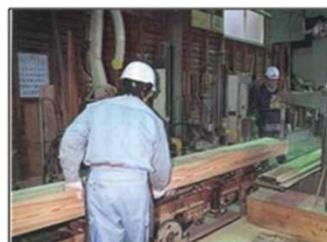
B材

C材

一部は他県の市場等へ出荷

木材加工工場等
(什器メーカー)

・都内製材工場
・他県製材工場



木製品
(什器など)

製材品
(柱、板など)

民間住宅等



都内公共施設



都内公共土木



民間住宅建材等

民間パルプ利用

合板工場
(千葉等)

チップ工場等
(財団・山梨)

※財団:(公財)東京都農林水産振興財団

多摩木材センター（原木市場）

所在地 日の出町大久野

- ・市開催日 毎月10日と25日
せり売り



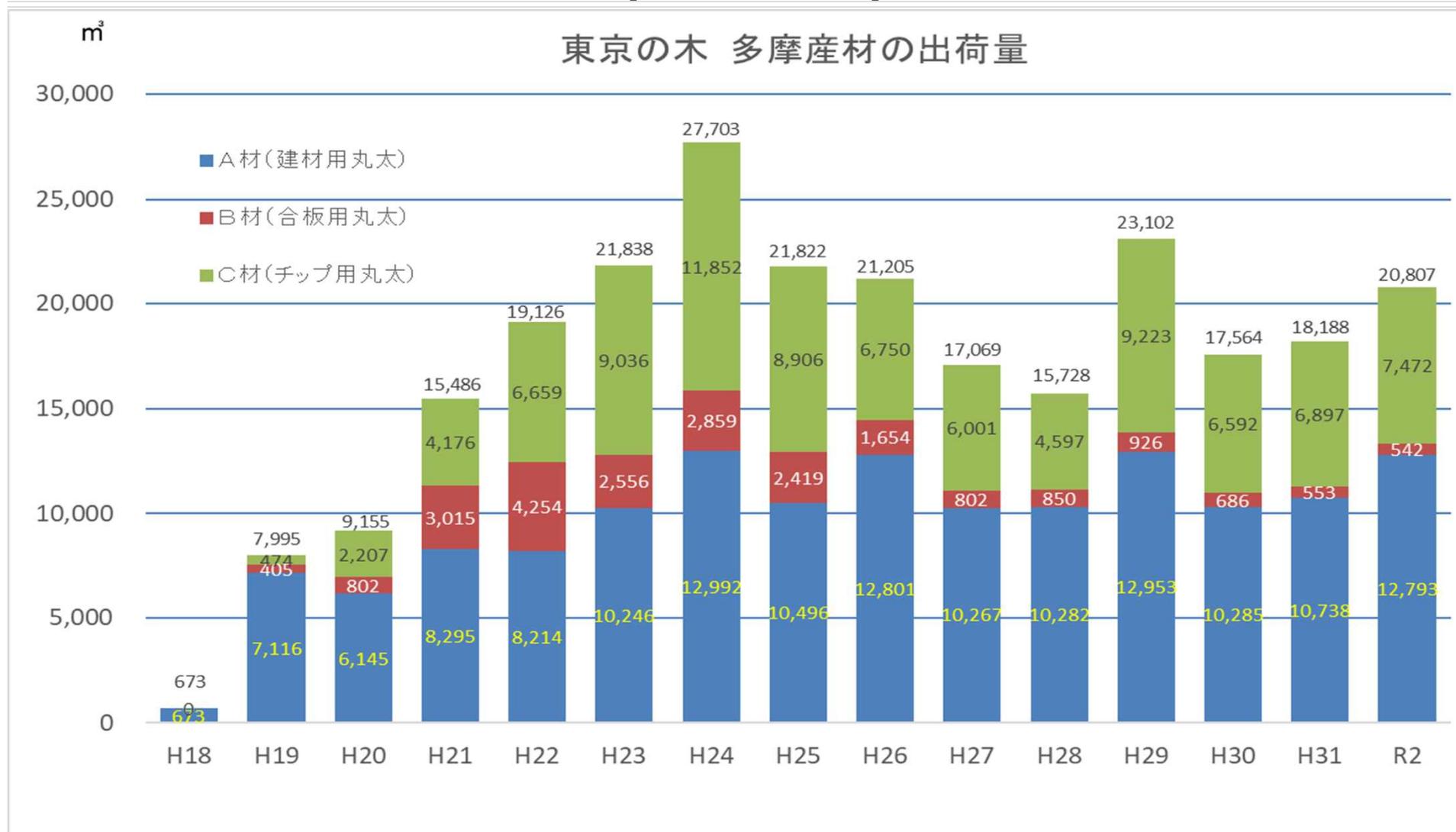
森林循環促進事業専用の貯木場

所在地 青梅市新町

・契約事業者へ販売



森林循環促進事業(主伐事業)による木材出荷量



◎平成18年度から 令和2年度までに 累計 25万7千m³ を出荷

(公財)東京都農林水産振興財団

森林認証(SGEC)の取得

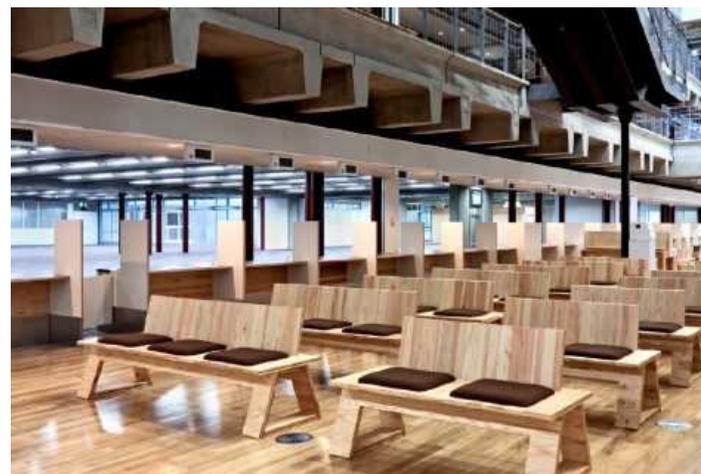


- 環境に配慮した持続可能な森林経営を実施するため、国際森林認証を2016年3月に取得
- 財団が管理する森林について一般社団法人緑の循環認証会議 (SGEC) によるFM認証を、貯木場についてCoC認証を取得し、毎年第三者機関による審査を受け、認証を維持
- 認証取得によって、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の木材調達基準に適合した多摩産材を供給できるようになり、オリパラ競技施設等に使用されている。

東京の木 多摩産材 活用事例



 東急池上線 戸越銀座駅



 立川市役所 待合室



 芦花の丘かたるぱ保育園
(世田谷区)



 財団事務所・什器



取組内容

- I 花粉の少ないスギ等への植替と
東京の木 多摩産材の出荷
- II 花粉の少ない森づくり運動



事業内容（ソフト事業）



①**企業の森**：企業等による森林整備等の寄付や、

みんなでサポート

社員参加の森林ボランティア活動を通じた森づくり

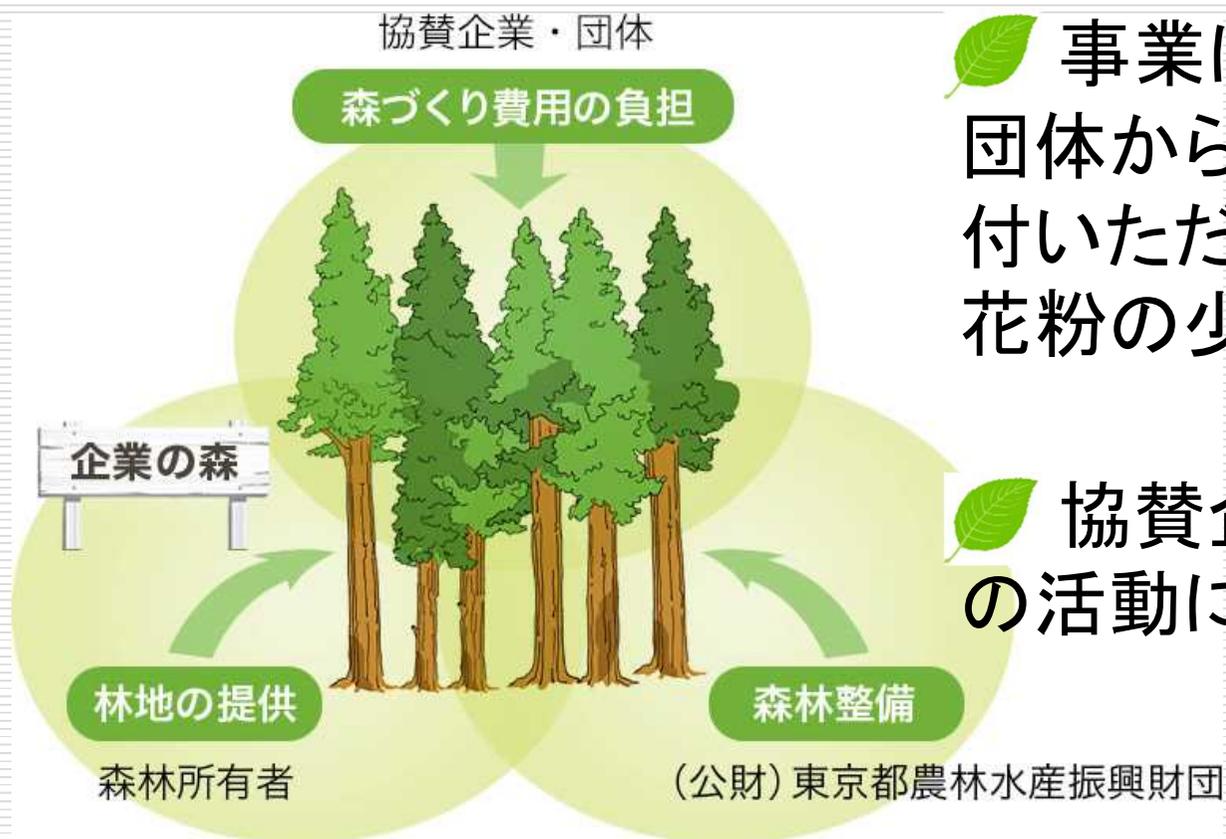
②**花粉の少ない森づくり募金**：都民や企業等からの募金

すぐにサポート

③**森づくり支援倶楽部**：会員制度による継続的なサポート

ずっとサポート

①企業の森



事業に賛同する企業・団体から森づくり費用を寄付いただき、多摩の森林を花粉の少ない森に誘導

協賛企業は社員研修等の活動に“企業の森”を活用

※三者による10年間の協定を締結

東京都「企業の森」一覧



企業の森 総数34ヶ所 面積75.67ha(2021.4月現在)

“企業の森” のイベント



②花粉の少ない森づくり募金



募金・寄付の方法

- 募金箱や口座振込み
- 東京マラソンチャリティへの参加
- パスモ（電子マネー）の利用
- 異業種連携によるPRイベントの開催



募金活動取組実績

🌿 森林セラピーイベント(山のふるさと村)

東京マラソンチャリティイベントの寄付者プログラム、及び森づくり支援クラブ会員の特典イベントとして実施



木工体験

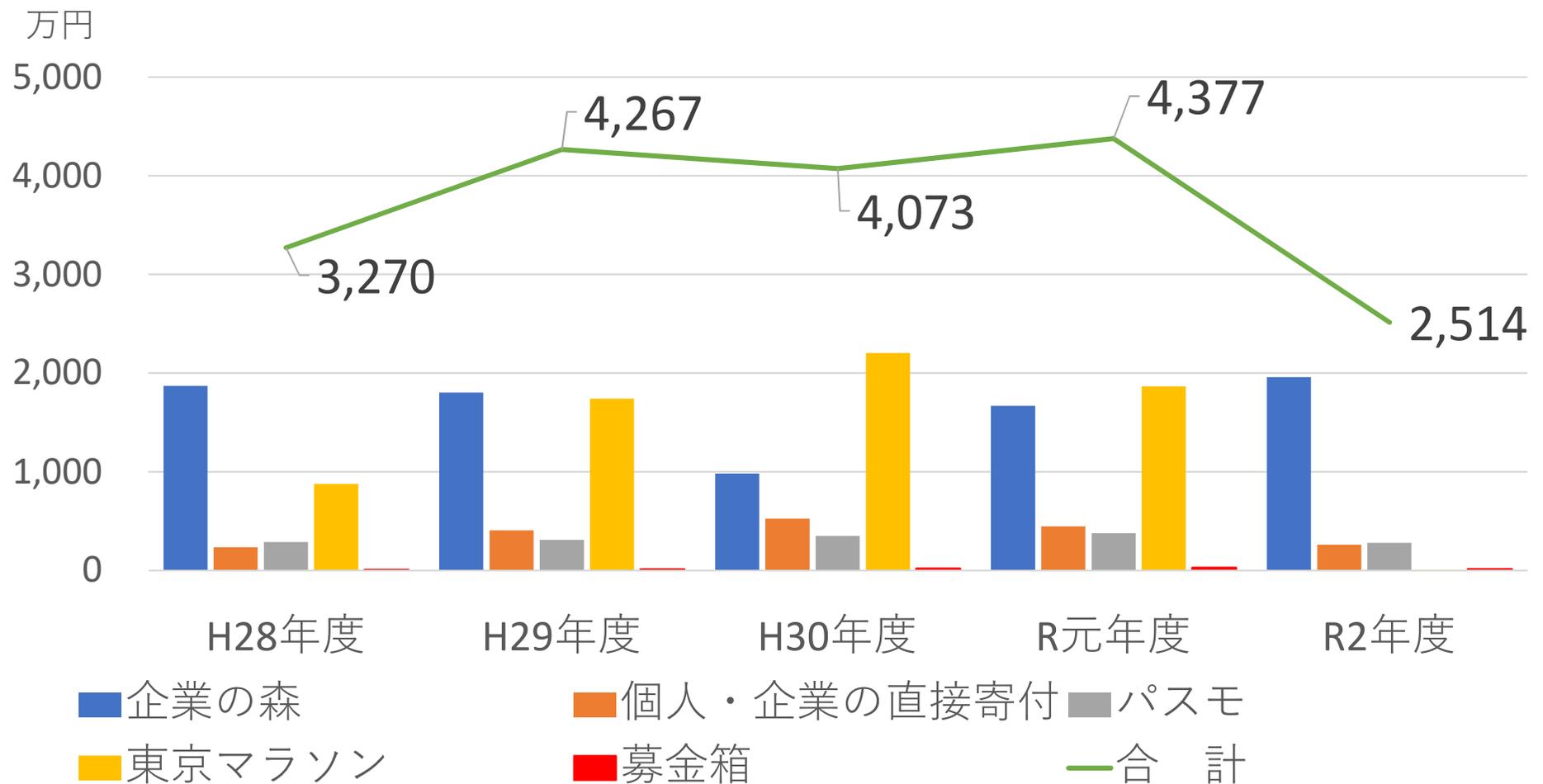


森林ヨガ

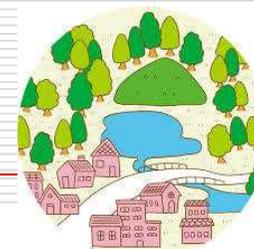


森林ガイドウォーク

花粉募金の実績推移 (H28~R2年度)



③森づくり支援倶楽部



設立目的

花粉の少ない森づくりを継続的に支援する会員制組織

会員区分	
個人会員	3,000円以上の寄付
法人会員	50,000円以上の寄付

倶楽部の取組

「花粉の少ない森づくり」に対する啓発活動や、イベント等への参加を通じて、森づくりに対する理解を醸成

特典

- ・花粉の少ない森づくりに関する情報提供（会報誌など）
- ・多摩地域の協賛施設（博物館、温泉など）割引券
- ・森づくりイベントの参加費無料